



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室IRチームマネージャー (氏名) 内山 健氏

TEL 03-5723-6885

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

2021年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	842,675	1.1	24,018	39.1	27,000	38.2	20,204	76.6
2020年3月期	852,450	0.2	17,266	19.1	19,534	24.6	11,439	8.0

(注) 包括利益 2021年3月期 25,209百万円 (136.5%) 2020年3月期 10,658百万円 (12.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	68.61	68.57	8.5	6.9	2.9
2020年3月期	38.72	38.70	5.1	5.0	2.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1,040百万円 2020年3月期 942百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	394,086	247,648	62.7	843.52
2020年3月期	389,426	229,178	58.5	773.26

(参考) 自己資本 2021年3月期 246,931百万円 2020年3月期 227,772百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	40,862	10,837	21,097	50,651
2020年3月期	31,847	7,855	16,390	41,771

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		17.00	17.00	5,007	43.9	2.2
2021年3月期		0.00		21.00	21.00	6,147	30.6	2.6
2022年3月期(予想)		0.00		22.00	22.00		40.3	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	410,000		12,000		12,500		8,500		29.04
通期	820,000		23,000		25,000		16,000		54.66

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	297,355,059 株	2020年3月期	297,355,059 株
期末自己株式数	2021年3月期	4,616,157 株	2020年3月期	2,794,446 株
期中平均株式数	2021年3月期	294,497,098 株	2020年3月期	295,442,149 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,738	21.1	10,071	27.4	10,202	27.0	10,282	25.5
2020年3月期	17,411	92.2	13,874	147.4	13,979	145.7	13,809	151.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	34.92	34.90
2020年3月期	46.74	46.71

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	225,231	193,021	85.6	658.91
2020年3月期	212,053	189,106	89.1	641.55

(参考) 自己資本 2021年3月期 192,889百万円 2020年3月期 188,975百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足資料・決算説明資料・中期経営計画2023説明資料の入手方法)

当社は、2021年5月12日(水)に機関投資家・アナリスト向けの決算及び中期経営計画2023説明会(WEB会議)を開催する予定です。決算補足資料・決算説明資料・中期経営計画2023説明資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動が制限される厳しい状況が続きました。先行きについても、感染が再拡大して収束時期が見通せない中、不透明な状況が続くと見込まれます。

当業界におきましては、新しい生活様式に基づく消費行動の変化が生じており、新たな事業環境への適応が求められています。当社グループでは、食品メーカーとしての供給責任を果たすべく、従業員の安全確保や事業継続に向けた感染症対策を徹底するとともに、市場の変化の兆しを的確に捉えて迅速に対応できる体制を整え、事業活動を行っております。

このような状況において、当社グループは、2021年度より3年間を対象期間とする「中期経営計画2023」を策定いたしました。「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、また「フェアスピリットと変革への挑戦を大切にし、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとして掲げ、「既存概念の打破」と「強みの再認識」による更なる成長と飛躍を意識し、「経営基盤の強化」「収益基盤の強化」「新規事業・市場への取り組み」「サステナビリティへの取り組み」を実行し、競争力と成長力を高めてまいります。また、定量指標としては、投下資本利益率（ROIC）を重視し、対象期間中に6.8%まで向上させていくことを目指します。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、前期に比べて9,774百万円減少し、842,675百万円（前期比1.1%減）となりましたが、営業利益は、前期に比べて6,751百万円増加し、24,018百万円（前期比39.1%増）となりました。また、経常利益は、前期に比べて7,465百万円増加し、27,000百万円（前期比38.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べて8,764百万円増加し、20,204百万円（前期比76.6%増）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、テレビコマercialの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークピッツ」「御殿場高原あらびきポーク」「原形ベーコンシリーズ」等、主力商品の拡販に努め、家庭用商品の販売は増加しましたが、外食向けの業務用商品の販売減少の影響もあり、売上高は微減となりました。

調理加工食品については、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」などのピザ類が堅調に推移したことに加え、「サラダチキン」「レンジでごちそうシリーズ」「旨包ボリュームリッチハンバーグ」等の消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品が伸長したことから、販売数量、売上高ともに増加しました。

ギフトについては、「伝承」シリーズを中心に拡販に努めましたが、市場全体が縮小する中、調理品ギフトは伸長したものの、ギフト全体では販売数量、売上高ともに前年を下回りました。

以上の結果、当連結会計年度の加工食品事業の売上高は、前期に比べて6,832百万円増加し、307,041百万円（前期比2.3%増）となりました。営業利益は、家庭用商品の販売伸長に加え、経費削減等に取り組んだ結果、前期に比べて5,667百万円増加し、12,397百万円（前期比84.2%増）となりました。

<食肉事業>

国内事業については、家庭内での食事機会の増加による内食需要の高まりを受けて量販店向けの販売が好調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による海外調達先の稼働率低下と外食向けの需要減退の影響により、売上高は減少しました。一方、在庫の適正化による採算管理を徹底し、利益率の改善を進めたことから、利益は前年を上回りました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、ニュージーランド政府の新型コロナウイルス対策による工場の一時稼働停止等の影響を受けて売上高は減少しましたが、採算重視の販売と経費削減に努めた結果、利益は前年を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の食肉事業の売上高は、前期に比べて16,603百万円減少し、531,581百万円（前期比3.0%減）となりましたが、営業利益は、前期に比べて2,158百万円増加し、13,443百万円（前期比19.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,660百万円増加し、394,086百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加、たな卸資産の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13,808百万円減少し、146,438百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて18,469百万円増加し、247,648百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて8,879百万円増加（前期は7,128百万円の増加）し、50,651百万円となりました。

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により資金は40,862百万円増加（前期は31,847百万円の増加）しました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益の計上、たな卸資産の減少によるものであります。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により資金は10,837百万円減少（前期は7,855百万円の減少）しました。主な減少要因は、設備更新等の有形固定資産の取得による支出であります。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により資金は21,097百万円減少（前期は16,390百万円の減少）しました。主な減少要因は、借入金の減少、配当金の支払及び自己株式の取得による支出であります。

(4) 今後の見通し

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2022年3月期	820,000	23,000	25,000	16,000	54.66
2021年3月期	842,675	24,018	27,000	20,204	68.61
増減率(%)	-	-	-	-	

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による購買行動の変化や社会のデジタル化の加速に加え、ESGやSDGsへの関心の高まりなどにより、消費者ニーズや価値観が急速に変化し多様化することが予想されます。

このような状況において、当社グループは、事業環境の変化に適応して強みを発揮していくために「中期経営計画2023」に基づき、統合後の経営基盤・収益基盤を確固たるものとし、新たな市場ニーズへの対応に加え、社会や環境に配慮した取り組みを行い、競争力と成長力を高めてまいります。

次期の連結業績につきましては、原材料価格の上昇に加え、内食需要の高まりが一段落することも予想されることから、売上高8,200億円、営業利益230億円、経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益160億円を見込んでおります。なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、次期の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,072	50,952
受取手形及び売掛金	87,902	86,591
商品及び製品	70,648	63,313
仕掛品	1,757	1,745
原材料及び貯蔵品	17,837	17,174
その他	6,293	6,617
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	226,498	226,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	101,777	102,615
減価償却累計額	△64,601	△66,181
建物及び構築物(純額)	37,175	36,433
機械装置及び運搬具	126,499	125,742
減価償却累計額	△96,194	△96,823
機械装置及び運搬具(純額)	30,305	28,919
工具、器具及び備品	6,873	6,903
減価償却累計額	△5,365	△5,435
工具、器具及び備品(純額)	1,508	1,468
土地	25,830	25,745
リース資産	5,932	6,214
減価償却累計額	△3,132	△3,455
リース資産(純額)	2,799	2,758
建設仮勘定	1,017	2,176
その他	172	145
減価償却累計額	△48	△52
その他(純額)	124	92
有形固定資産合計	98,760	97,595
無形固定資産		
のれん	21,057	19,573
その他	1,626	2,150
無形固定資産合計	22,684	21,724
投資その他の資産		
投資有価証券	25,822	29,331
長期貸付金	1,518	1,520
繰延税金資産	1,067	734
退職給付に係る資産	9,378	12,162
その他	3,822	4,738
貸倒引当金	△126	△105
投資その他の資産合計	41,482	48,382
固定資産合計	162,927	167,702
資産合計	389,426	394,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,574	56,615
電子記録債務	1,748	1,660
短期借入金	28,880	25,704
1年内返済予定の長期借入金	10,179	155
リース債務	794	813
未払金	21,111	21,768
未払法人税等	1,707	4,149
未払消費税等	1,418	508
賞与引当金	5,280	6,397
役員賞与引当金	120	147
災害損失引当金	544	467
その他	4,745	4,653
流動負債合計	138,106	123,041
固定負債		
長期借入金	10,872	10,717
リース債務	2,228	2,193
繰延税金負債	2,179	4,253
退職給付に係る負債	2,208	1,725
資産除去債務	1,461	1,475
その他	3,190	3,031
固定負債合計	22,140	23,396
負債合計	160,247	146,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,267	96,624
利益剰余金	101,792	116,989
自己株式	△2,293	△3,624
株主資本合計	225,770	239,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,823	7,298
繰延ヘッジ損益	△355	△329
為替換算調整勘定	△3,767	△3,073
退職給付に係る調整累計額	1,301	3,042
その他の包括利益累計額合計	2,002	6,939
新株予約権	131	131
非支配株主持分	1,275	585
純資産合計	229,178	247,648
負債純資産合計	389,426	394,086

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	852,450	842,675
売上原価	718,902	702,695
売上総利益	133,548	139,979
販売費及び一般管理費	116,281	115,961
営業利益	17,266	24,018
営業外収益		
受取利息	118	56
受取配当金	342	328
受取賃貸料	425	423
受取保険金	428	214
助成金収入	598	1,244
持分法による投資利益	942	1,040
その他	498	573
営業外収益合計	3,355	3,882
営業外費用		
支払利息	711	360
不動産賃貸費用	139	143
その他	236	395
営業外費用合計	1,087	900
経常利益	19,534	27,000
特別利益		
固定資産売却益	54	476
投資有価証券売却益	83	10
受取保険金	331	3,003
その他	13	-
特別利益合計	483	3,490
特別損失		
固定資産除却損	469	587
投資有価証券売却損	7	475
減損損失	17	165
災害による損失	1,493	-
子会社整理損失	-	139
事業整理損失	719	-
その他	29	8
特別損失合計	2,738	1,377
税金等調整前当期純利益	17,280	29,113
法人税、住民税及び事業税	5,491	8,367
法人税等調整額	213	451
法人税等合計	5,704	8,819
当期純利益	11,575	20,294
非支配株主に帰属する当期純利益	135	89
親会社株主に帰属する当期純利益	11,439	20,204

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	11,575	20,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	2,449
繰延ヘッジ損益	573	26
為替換算調整勘定	△694	441
退職給付に係る調整額	△70	1,651
持分法適用会社に対する持分相当額	△401	346
その他の包括利益合計	△916	4,915
包括利益	10,658	25,209
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,506	25,141
非支配株主に係る包括利益	151	68

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,003	96,301	95,374	△1,849	219,829
当期変動額					
剰余金の配当			△5,021		△5,021
親会社株主に帰属する 当期純利益			11,439		11,439
自己株式の取得				△606	△606
自己株式の処分		△33		162	128
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△33	6,418	△444	5,940
当期末残高	30,003	96,267	101,792	△2,293	225,770

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	5,263	△928	△2,876	1,475	2,935	139	1,169	224,074
当期変動額								
剰余金の配当								△5,021
親会社株主に帰属する 当期純利益								11,439
自己株式の取得								△606
自己株式の処分								128
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△440	573	△891	△174	△932	△8	105	△836
当期変動額合計	△440	573	△891	△174	△932	△8	105	5,104
当期末残高	4,823	△355	△3,767	1,301	2,002	131	1,275	229,178

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,003	96,267	101,792	△2,293	225,770
当期変動額					
剰余金の配当			△5,007		△5,007
親会社株主に帰属する 当期純利益			20,204		20,204
自己株式の取得				△1,478	△1,478
自己株式の処分		△29		147	117
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		386			386
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	357	15,196	△1,331	14,222
当期末残高	30,003	96,624	116,989	△3,624	239,992

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,823	△355	△3,767	1,301	2,002	131	1,275	229,178
当期変動額								
剰余金の配当								△5,007
親会社株主に帰属する 当期純利益								20,204
自己株式の取得								△1,478
自己株式の処分								117
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							△714	△327
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,475	26	694	1,741	4,936		24	4,961
当期変動額合計	2,475	26	694	1,741	4,936	-	△689	18,469
当期末残高	7,298	△329	△3,073	3,042	6,939	131	585	247,648

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	17,280	29,113
減価償却費	10,933	11,519
減損損失	17	165
賞与引当金の増減額 (△は減少)	525	1,116
のれん償却額	1,591	1,483
受取利息及び受取配当金	△460	△385
支払利息	711	360
受取保険金	△760	△3,218
災害による損失	1,493	-
事業整理損失	719	-
子会社整理損失	-	139
助成金収入	△598	△1,244
持分法による投資損益 (△は益)	△942	△1,040
投資有価証券売却損益 (△は益)	△76	464
売上債権の増減額 (△は増加)	12,216	1,293
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△548	8,043
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,995	△4,821
未払金の増減額 (△は減少)	△336	709
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△43	△132
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△207	△708
その他	△102	△1,754
小計	38,414	41,103
利息及び配当金の受取額	561	625
保険金の受取額	747	3,227
助成金の受取額	522	1,033
利息の支払額	△712	△360
災害損失の支払額	△355	△77
法人税等の支払額	△7,330	△4,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,847	40,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,995	△9,685
無形固定資産の取得による支出	△571	△1,226
投資有価証券の取得による支出	△1,109	△73
投資有価証券の売却及び償還による収入	233	714
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,271	-
関係会社株式の有償減資による収入	2,969	-
貸付けによる支出	△265	△237
貸付金の回収による収入	1,012	235
その他	143	△564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,855	△10,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,740	△3,192
長期借入金の返済による支出	△5,209	△10,179
自己株式の取得による支出	△606	△1,478
子会社の自己株式の取得による支出	-	△321
配当金の支払額	△5,018	△5,009
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△6
リース債務の返済による支出	△770	△866
その他	△45	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,390	△21,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	△472	△48
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,128	8,879
現金及び現金同等物の期首残高	34,643	41,771
現金及び現金同等物の期末残高	41,771	50,651

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、主にハム・ソーセージ及び調理加工食品等の製造、販売を事業領域とする「加工食品事業」と主に食肉の生産、処理加工及び販売を事業領域とする「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	300,209	548,184	848,394	4,055	852,450	-	852,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,818	25,398	29,217	27,493	56,710	△56,710	-
計	304,027	573,583	877,611	31,549	909,161	△56,710	852,450
セグメント利益	6,730	11,284	18,014	245	18,260	△993	17,266
セグメント資産	126,226	148,561	274,788	2,157	276,945	112,481	389,426
その他の項目							
減価償却費	7,115	3,473	10,588	224	10,812	33	10,846
のれんの償却額	76	126	202	-	202	1,389	1,591
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,898	3,434	9,332	170	9,502	412	9,915

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,389百万円等であります。

(2) セグメント資産の調整額112,481百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産の主なものは、現金及び預金41,039百万円、投資その他の資産40,465百万円、のれん20,836百万円等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額412百万円は、主に各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	307,041	531,581	838,623	4,052	842,675	-	842,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,097	24,414	26,512	28,843	55,355	△ 55,355	-
計	309,139	555,996	865,136	32,895	898,031	△ 55,355	842,675
セグメント利益又は 損失(△)	12,397	13,443	25,840	△ 88	25,751	△ 1,733	24,018
セグメント資産	113,561	149,042	262,603	2,341	264,945	129,141	394,086
その他の項目							
減価償却費	6,937	4,159	11,096	243	11,340	36	11,377
のれんの償却額	-	94	94	-	94	1,389	1,483
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,187	4,314	10,502	454	10,957	640	11,598

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,389百万円等であります。
- (2) セグメント資産の調整額129,141百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産の主なものは、現金及び預金50,831百万円、投資その他の資産47,832百万円、のれん19,447百万円等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額640百万円は、主に各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	773.26円	843.52円
1株当たり当期純利益	38.72円	68.61円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	38.70円	68.57円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	229,178	247,648
純資産の部の合計から控除する金額(百万円)	1,406	716
（うち新株予約権(百万円)）	(131)	(131)
（うち非支配株主持分(百万円)）	(1,275)	(585)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	227,772	246,931
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	294,560	292,738

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	11,439	20,204
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	11,439	20,204
普通株式の期中平均株式数(千株)	295,442	294,497
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	176	173
（うち新株予約権(千株)）	(176)	(173)
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかつた潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。